

発行者：厚木交響楽団 友の会事務局

新しい年、2020年(令和2年)の幕が開きました。  
偶然「2」が揃いましたが、今年は珍しく2月に定期演奏会を開催いたします。  
(残念ながら20日や22日ではなく、23日ですが。)  
当団にとって2020年度最初の演奏会です。お寒い中ですが、ぜひ会場に足をお運びくださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

明けましておめでとうございます

皆様にとって幸多き一年でありますよう  
心からお祈りいたします  
令和2年1月

まずは、オリンピックイヤーに相応しいショスタコーヴィッチの「祝典序曲」で華やかに幕を開けましょう！続きましてスペインが濃厚に香り立つ、ファリヤのバレエ組曲「三角帽子」をお楽しみください。  
休憩の後は一気にクールダウン！フィンランドの、冷たく澄み切った冬を思わせるシベリウスの「交響曲第1番」の登場です。  
ここ数年ずっとお世話になっております長野 力哉マエストロの指揮でバラエティーに富んだプログラムをご用意して、皆様をお待ち申し上げております。

さて、今回から懐かしい仲間が一人ステージに戻って来てくれます。  
しばらくお休みしていた打楽器奏者の鈴木明さんです。

かつては演奏会のプログラムノート執筆の経験も持つ、当団きってのクラシック通の彼、以前友の会通信でも「アメリカの音楽」について語ってくれています。今回、復帰記念も兼ねて再び誌上レクチャーをお願いすることになりました。

ステージではいつも最上段に陣取り、指揮者とお客様を見据える打楽器群。お馴染みのティンパニ以外にも、曲によっては何人の奏者が様々な楽器を操っているのがよくご覧になれるでしょう。「三角帽子」にもたくさんの打楽器が登場いたします。これから鈴木さんに一つ一つについて紹介してもらうとともに、それぞれの楽器が曲の中でどのように使われているかも教えてもらいましょう。さあ鈴木さん、初仕事お願いいたします！

## 打 楽 器 の ご 紹 介

～オーケストラ編～

打楽器は、古代からお祭りや儀式で世界中の人々に使われてきました。ある意味、弦楽器や管楽器以上に広く親しまれているかもしれません。では、オーケストラはどうでしょうか。…悪く言えば「無くとも困らない」と言えることが多いです。しかし、わずか1音で曲調を大きく変えることの出来る、効果的な楽器です。歴史的には、やはり民族楽器をルーツにしているものが多く、オーケストラの拡大に伴いどんどん取り入れられてきました。今回の演奏会では、特に多くの打楽器が使われているので、それらを中心に、簡単にご紹介しましょう。

### ● ティンパニ

オーケストラの後ろにある、大きな金のような楽器、これがティンパニです。革を張った楽器では、唯一音程がある楽器と言ってよいでしょう。昔は革を紐で引っ張って締めていましたが、ハンドルで締める形となり、現在ではペダルを使って、曲の中でも音程が変えられる楽器へと進化しました。すでにバッハやヘンデルの時代には2台一組で使われ、主に曲の主音と属音や下属音（ハ長調ならドとソやドとファ）を叩いていました。しかし、ベートーヴェンの交響曲第九番では、オクターブに調律されたティンパニが2楽章冒頭で旋律のモチーフをソロで叩く役割をし、ベルリオーズの幻想交響曲では、3楽章で4人の奏者が4台で遠雷の効果をだし、4, 5楽章では2人の奏者に各々2台一組を与え自由で効果的な使い方をさせました。



これらの事が、ティンパニを現在に至る非常に重要な楽器へと押し上げたのです。また、昔は木のばちで叩いていましたが、これもベルリオーズが、曲の中で「フェルトを巻いたばち」を指定したことで、様々ななばちの違いも含め、表現力も大きく向上しました。今回のシベリウスの交響曲第1番では、長いトレモロで重々しい北欧の雰囲気を出しています。

### ● 大太鼓（バスドラム）

両側に革を張った太鼓のうち、大きいのが大太鼓です。これは軍楽隊に取り入れられた楽器が後にオーケストラに取り入れられたものです。これも第九で「トルコの軍楽隊も現れ、一緒に歓喜を歌う」場所で、主要作品としては初めて交響曲に取り入れられました。また、幻想交響曲では、行進曲風とは一変した、静かなトレモロで地獄のおどろおどろしさを表現させています。また、ヴェルディのレクイエムやストラヴィンスキイの春の祭典も効果的な使い方をしています。



## ●小太鼓（スネアドラム）

同じく両側に革を張った太鼓のうち、小さいものが小太鼓です。両側に革を張った太鼓はたくさん種類がありますが、小太鼓の特徴としては裏側に「響き線」という金属線が張られていて、叩くと「ザッ」「ザラア」というような音がします。この楽器ではなんといってもラヴェルのボレロが有名で、最初のごく静かなところから最後の大熱狂するところまで、同じリズムを叩き続けています。また、**今回の祝典序曲のショスタコーヴィッチも、多くの作品で小太鼓を巧みに使う作曲家で、祝典序曲は小太鼓の魅力満載の楽しい曲です。**



## ●シンバル

トルコの軍楽隊で使われていたシンバルは、金属の皿のような楽器で、2枚を合わせて叩いたり、つるした1枚のものをぱちで叩いたりします。これは、主要作品では、トルコを舞台にした、モーツァルトの歌劇「後宮への誘拐」で、また交響曲では第九で最初に使われました。



また、幻想交響曲で死刑の瞬間で劇的な使われ方をしています。チャイコフスキイの交響曲第4番では、終盤にひたすら叩き続ける、技術的にも体力的にも厳しい有名な難所があります。**今回は、祝典序曲のファンファーレでの華やかな響きや、交響曲第1番の第1楽章、出番はわずか1音ですが、それまでの曲の流れを断ち切るような鋭い響きにご注目ください。**



## ●トライアングル

これは皆さんおなじみの楽器だと思いますが、重要な役割をもっていることも多く、きれいな音を正確に出すために非常に神経を使う楽器です。リストのピアノ協奏曲第1番が、当時の口の悪い評論家に「トライアングル協奏曲」と揶揄されたほど、トライアングルが大活躍します。また、ブルームスの「ハイドンの主題による変奏曲」や、ワーグナーの楽劇「ニュルンベルグのマイスター・ジンガー」前奏曲では、わずか1音で曲全体の雰囲気を変える、効果的な使い方がされています。**祝典序曲での華やかな効果や、また、三角帽子の第2組曲の終曲は特に聞きごたえ（見ごたえ）があります。**



## ●グロッケンシュピール



グロッケンシュピールはいわゆる鉄琴の一つで、音階のある金属の鍵盤を叩く鍵盤打楽器です。オーケストラで比較的よく使われます（しかしあマチュア奏者の少ない人たちが、これらの楽器を苦手にしていることが多いです…）。金属の華やかな音色でソロやメロディを叩くことが多く、レスピーギの「ローマの噴水」の、朝日を浴びた水のきらめきの表現が大変美しく、またホルストの惑星などでも大活躍しています。**今回は三角帽子の中盤、「ぶどう」で出てきます。**

## ●シロフォン

シロフォンはいわゆる木琴の一つで、音階のある木の鍵盤を叩く鍵盤打楽器です。グロッケンシュピールとともにオーケストラでよく使われる鍵盤打楽器の一つです。硬い音色でソロやメロディを叩くことが多く、近現代では数多く使われています。サン・サーンスの動物の謝肉祭やカバレフスキイの道化師（運動会の音楽でおなじみ）が、オーケストラ作品では有名です。**今回は三角帽子の第1組曲の「粉屋の女房の踊り」や、第2組曲の終曲で出てきます。後者は特に格好良い見せ場の一つです。**



## ●カスタネット

これも「赤と青」のもので皆様おなじみと思いますが、タンバリンと並び、オーケストラに取り入れられた民族楽器の代表的なもので、二枚貝のような形をした木を2枚ずつ両手に持って鳴らします。スペインのフラメンコで使われる楽器で、やはりスペインの音楽に出てくることが多く、ビゼーの歌劇「カルメン」や**今回のファリヤの三角帽子が有名です。終曲で祭りの雰囲気を盛り上げる様は、スペイン情緒を感じさせるものです。**



## ●銅鑼（どら、ゴング、タムタム）

中国の銅鑼（どら）は、大きな円盤状の金属で、大きくなかったり、形も、でっぱりがあったりなかったり、呼び名が違ったりと色々ややこしいのですが、現在では中国風の曲だけでなく、様々な曲で使われています。フォルテ（強い音）では荒々しく、ピアノ（弱い音）では非常に幻想的な雰囲気を作れる、とても面白い楽器で、前者では春の祭典、後者ではチャイコフスキイの交響曲第6番「悲愴」が有名です。**今回は、これも三角帽子の終曲に、祭りを盛り上げる効果で使われています。**



ここまで紹介してまいりましたが、三角帽子の終曲が打楽器全体大活躍する曲です。賑やかなお祭りの場面らしく楽しくそれぞれの楽器を鳴らしている奏者たちをご覧いただければ幸いです。他にもたくさんの種類の打楽器があります。次回7月の定期演奏会では、今回以上に多くの打楽器が登場します。皆さんもオーケストラを聴くときには、是非打楽器にも注目してください。  
**(打楽器パート 鈴木 明)**

# 打楽器 番外編

「この際だから、打楽器のことあれこれ聞いちゃおう！」  
～打楽器にまつわる素朴な疑問 Q&A～

Question : 事務局 岡田 史子 Answer : 鈴木 明 でお送りいたします。

Q : 「太鼓の皮」って、原材料は何なのでしょう？

A : ティンパニなどの革は、ほぼ全てプラスチック製のヘッドに変わっています。古い楽器のバロックティンパニは、革を紐で張るスタイルのままですが。（N響の小野さんが、ベートーヴェンなどで使ってるので、それを見ると参考になります。）では「太鼓の革はほぼ現在はプラスチックヘッドで」と言わないのは、タンバリン（これも太鼓！）は演奏会用では100%牛革ヘッドだからです。

Q : で、皮は破れることはありますか？

A : 本番では見たことはありませんが、破れます。高校時代、新しいバスドラにも関わらず、練習中に普通に叩いて破った時は死ぬほどびっくりしました！傷でも入っていたのでしょうか。本番で起きると、もう後は叩けませんね。

Q : 他に何かトラブルは？

A : 「落ちる」（合奏中、入るべきところで入れないこと）は日常茶飯事ですが、手が滑ったり紐が切れたりして楽器を落とす（当然すごい音がする）、スタンドを倒す、ばちを落とすetc. 酷いのでは、ひな壇から落ちる（やった人を知っている）。あとシンバルで、合わせた時にちょうど吸盤のように空気を吸い込んで張り付いてしまい、「バヌッ」という音しか出ないことがあります。かつてある吹奏楽コンクールで、課題曲がシンバルから始まるファンファーレで、それをやってしまった子を見ました。終わった後大泣きしだらうなあ。打楽器独特なのかもしれないのは、「同じようなリズムを刻んでいるので楽譜を一段飛ばして見てしまい、混乱する」というのがありますね。

Q : 一つの曲で使われる打楽器の数が最も多い曲を教えてください。

A : 有名な曲では、レスピーギの「ローマの祭」でしょうか。16,7種類の楽器を10人以上で演奏します。ほとんどが4楽章でしか出てこないのでけれどもね。

Q : ということは、普通打楽器奏者という人々は、だいたい一人で何でも叩けるものなのでしょうか？

A : そうです。一人で全部叩けるように訓練されます。音大はもちろん、高校の吹奏楽部でも。当然楽器によって得意、不得意が出るのですが、例えば鍵盤打楽器は、ピアノをやっていたかどうかで差が出ることが多いです。それでも、必要に応じて、何でもやりますよ。

Q : 楽器が多い曲の場合、掛け持ちすることもあるのですね？

A : そうです。無理な持ち替えが無いか、それからプログラム間での負担のバランスを考え、必要最低人数を決めて振り分けていきます。ベートーヴェンの第九の場合、3楽章の手前で独唱者が入場する時に、ティンパニ以外の奏者がこっそり入ります。で、出番は4楽章からなので3楽章では、気持ち良くうとうとしていることも（笑）。実は、次の6月の「スター・ウォーズ組曲」も編成は巨大で、13種類なのです。「惑星」（ティンパニ2組）と合わせて、楽器のレンタル代一すんだよ…と早くも心配しています。

なるほど、打楽器は運搬も大変だし、普段使わない楽器はレンタルしなければならないし、他の楽器の奏者とは違うご苦労がありますね。おかげさまで面白いお話をたくさん聞きました。次の演奏会からは、ステージの最上段により熱い視線が注がれるかも？

鈴木さん、どうもありがとうございました！



## 第85回 定期演奏会～宇宙～

2020年7月12日（日）

指揮／長野 力哉

ジョン・ウィリアムズ：スター・ウォーズ組曲

ホルスト：組曲「惑星」より火星、金星、木星

モーツアルト：交響曲第41番「ジュピター」

今後の  
演奏会  
予定

## 丹沢歌劇団オペラ公演

2020年3月15日（日）

指揮／柴田 真郁

モーツアルト：  
「フィガロの結婚」ハイライト丹沢版  
(次ページにお知らせがあります)

## 厚木市民芸術祭

2020年12月13日（日）

指揮／柴田 真郁

ヴエルディ：レクイエム

※会場はいずれも厚木市文化会館、14時開演です

インペク【にしあ】  
の  
つぶやき



## —最終回—

### 友の会通信に、インペクのつぶやきを掲載して早4年。今回が最終回となります。

最終回には、宣伝をさせてください。

2月23日の第84回定期に続き、3月15日に「丹沢歌劇団」の旗揚げ公演に厚響選抜メンバーで参加いたします。厚木市の周辺には市民オペラ団体が増えてまいりました。歴史ある藤沢市民オペラさんをはじめ、座間、相模原、大和、八王子などなど…。私たちのホームグラウンド厚木市文化会館にはオーケストラピットがあるのに、そこを拠点とする市民オペラ団体はまだありません。そこに、この度誕生したのが「丹沢歌劇団」です。今回の旗揚げ公演は、セミステージ公演という完全な形のオペラ公演ではありませんが、「まずは劇場に足を運んでもらおう」「堅苦しくなく、わかりやすく楽しめるものを…」という思いで、モーツアルトの「フィガロの結婚」をハイライトで、台詞は日本語で制作・上演することになりました。「丹沢歌劇団」さんは、いつかはオーケストラピットをしつらえて本格的公演を目指しているそうです。厚響同様、「丹沢歌劇団」を是非とも応援してください!!!

オペラの魅力とは、まさに人間の表現できる芸術のすべての要素、文学、演劇、歌唱、舞踊、美術、そして音楽のすべてが結集したものだといえるでしょう。とても厚響だけで上演できるようなものではありませんが、厚木市文化会館に市民の手でグランドオペラの上演が実現することを願ってやみません。

その第一歩3月15日には、ぜひ文化会館にお運びください。

今までおよそ10回にわたり、わたくしの駄文にお付き合い頂き誠にありがとうございました。



丹沢歌劇団代表の武田 直之さんよりメッセージをいただいております。

### ～丹沢歌劇団について～

自然豊かで美しい土地に暮らしていながら、演奏活動で都内に通う日々。しかし、様々な現場で、近くに住んでいる歌い手達が沢山いる事を知り、これは地元で何か出来るのではないか?と、声を掛けてみた所、これだけの人達が集まりました。折角だから、当たり前にオペラを上演するのではなく、老若男女問わず、わかりやすく楽しめる舞台を作つてみよう!をモットーに、今回の旗揚げ公演に向けて、公演を重ねてきました。あちこちに頭をぶつけながらも、お客様と共に作り上げるオリジナルのスタイル、が少しづつ確立して参りました、いよいよ、旗揚げ公演と相成りました!笑いあり!?涙なし!!前代未聞のオペラ舞台です。「オペラ?ちょっと難しそうねえ?」

心配ございません!少しでもご興味がございましたら、是非是非、ご来場下さい!楽しくわかりやすく、がモットーですので、初めてのオペラにも大変オススメでございます。団員一同、心よりお待ち申し上げます。



### 事務局より

○お待たせいたしました!第84回定期演奏会のご招待券をお送りします。友の会2019年度の会期は今年の3月31日までですので、会員の皆様への各種サービスのご提供はこの封書をもちまして年度最後となります。同封させていただいた「継続のご案内」をご覧になり、ぜひ来年度も友の会会員をご継続いただきますよう、お願い申し上げます。変更希望のある方のみ、添付のお葉書にてこちらまでご連絡くださいませ。継続いただける会員の皆様は、来年度の会費のお振込をどうぞよろしくお願ひいたします。

○「県央にオペラの花を咲かせよう!」と今、その小さな種が蒔かれようとしています。無事に発芽してすくすくと育ち、数年後には大きな花を咲かせられますように!一人でも多くの市民の皆様に観ていただき、楽しんでいただくことが、小さな芽を育む糧となります。今回「フィガロの結婚」公演の割引チケット申し込み用紙を同封させていただきました。ぜひご利用いただけたらと存じます。

○「インペクにしおのつぶやき」はご好評の内に今回を持って終了となります。これまで6年間に渡って皆様に通信をお届けして参りました事務局岡田史子も、今年度の厚木交響楽団役員改選により、その任から降りることとなりました。お名残は尽きませんが、春からはフレッシュなメンバーを交えての新事務局が活動を開始いたします。どうぞ、これからも変わらず皆様からの温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(事務局 岡田 史子)